

			混合物ID	M230-D404
			作成日	2025/4/8
			改訂日	
			判定ルール	JIS
			対応版	GHS 6版
安全データシート（SDS）				
化学品の名称（日本語）	フィルステイック 230-D404			
供給者の会社名	株式会社キャンディルデザイン			
住所	神奈川県川崎市宮前区有馬8-3-11			
電話番号	044-863-9112			
推奨用途	木部補修			
使用上の制限	用途外での使用は禁止			
2. 危険有害性の要約				
GHS分類 物理化学的危険性	爆発物	分類できない		
	可燃性ガス	区分に該当しない（分類対象外）		
	エアゾール	区分に該当しない（分類対象外）		
	酸化性ガス	区分に該当しない（分類対象外）		
	高压ガス	区分に該当しない（分類対象外）		
	引火性液体	区分に該当しない（分類対象外）		
	可燃性固体	分類できない		
	自己反応性化学品	分類できない		
	自然発火性液体	区分に該当しない（分類対象外）		
	自然発火性固体	分類できない		
	自己発熱性化学品	分類できない		
	水反応可燃性化学品	分類できない		
	酸化性液体	区分に該当しない（分類対象外）		
	酸化性固体	分類できない		
	有機過酸化物	分類できない		
	金属腐食性物質	分類できない		
	鈍性化爆発物	分類できない		
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない		
	急性毒性（経皮）	区分に該当しない		
	急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）		
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない		
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない		
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない		
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2B		
	呼吸器感作性	分類できない		
	皮膚感作性	分類できない		
	生殖細胞変異原性	分類できない		
	発がん性	区分2		
	生殖毒性	分類できない		
	生殖毒性・授乳影響	分類できない		
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分あり		
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（1）	区分3	気道刺激性	
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分あり		
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（1）	区分2	呼吸器	
誤えん有害性	分類できない			
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない		
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない		
	オゾン層への有害性	分類できない		

GHSラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語

危険有害性情報



警告

眼刺激(H320)
呼吸器への刺激のおそれ(H335)
発がんのおそれの疑い (H351)
長年にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ(H373)

注意書き

安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)
飲み込んだ場合: 口をすすいでください。嘔吐させないでください。感染した場合、または気分が悪くなった場合中毒センターまたは医師に電話してください。

保管

換気の良い場所で保管すること。

廃棄

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

備考

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物（製品）の 混合物

区別
化学物質・混合物（製品）名 フィルスティック 230-D404
称

組成物質（1） 固形パラフィン（25-40％）（CAS RN：8002-74-2）

組成物質（2） 1-オクタデカノール（2.5-10％）（CAS RN：112-92-5）

組成物質（3） 1－ヘキサデカンノール（別名：1-セタノール、パルミチルアルコール）（2.5-10％）（CAS RN：36653-82-4）

組成物質（4） 酸化チタン(ナノ粒子以外)（1.0-2.5％）（CAS RN：13463-67-7）

官報公示整理番号（化審法） 1-オクタデカノール（10.0000000％）（CAS RN：112-92-5）；化審法官報整理番号（2-217）【アルカノール（C＝5～38）】；化審法官報整理番号（2-3704）【n－アルカン（C＝14～66の混合物）－1－オール】
1－ヘキサデカンノール（別名：1-セタノール、パルミチルアルコール）（10.0000000％）（CAS RN：36653-82-4）；化審法官報整理番号（2-217）【アルカノール（C＝5～38）】
酸化チタン(ナノ粒子以外)（2.5000000％）（CAS RN：13463-67-7）；化審法官報整理番号（1-558）【酸化チタン】；化審法官報整理番号（5-5225）【ピグメント ホワイト－6】

官報公示整理番号（安衛法） 酸化チタン(ナノ粒子以外)（2.5000000％）（CAS RN：13463-67-7）；安衛法官報整理番号（2-(3)-509）【3－（トリメトキシシリル）プロピル＝アクリラートによる二酸化チタンの表面処理物】

備考 成分の正確な割合（濃度）は企業秘密として非公開にされています。

4． 応急措置	
吸入した場合	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合: 多量の石鹼と水で優しく洗ってください。皮膚に炎症が生じた場合: 医師の診断を受けてください。
眼に入った場合	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察または手当てを受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合: 口をすすいでください。嘔吐させないでください。感染した場合、または気分が悪くなった場合中毒センターまたは医師に電話してください。
備考	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察または手当てを受けること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診察または手当てを受けること。
5． 火災時の措置	
備考	
6． 漏出時の措置	
備考	漏洩またはこぼれた場合の対策: こぼれた物質を掃き集めるか、掃除機で吸い取り、適切な容器に収集して廃棄します。
7． 取扱い及び保管上の注意	
取り扱い_安全取扱注意事項	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取り扱い_接触回避	吸入したり、目、皮膚、衣類と接触したりしないようにすること。
保管_安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。
備考	
8． ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	酸化チタン(ナノ粒子以外)（2.5000000 %）（CAS RN：13463-67-7）；日本産業衛生学会：許容濃度(ppm)、許容濃度(mg/m3)0.3；日本産業衛生学会：許容濃度(ppm)、許容濃度(mg/m3)2（総粉塵）, 1.5（吸入性粉塵）
呼吸用保護具	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
手の保護具	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
目、顔面の保護具	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
9． 物理的及び化学的性質	
物理状態	個体
臭い	無し～ 非常にわずか
融点・凝固点	未決定
沸点又は初留点及び沸点範囲	未決定
可燃性	燃焼を助ける
爆発下限界及び爆発上限界／	未決定
可燃限界	
引火点	160℃
自然発火点	未決定
分解温度	未決定
pH	未決定
動粘性率	未決定
溶解度	未決定
n-オクタノール／水分配係数（log値）	未決定
蒸気圧	未決定
密度及び／又は相対密度	0.975g/cm3
相対ガス密度	未決定

粒子特性	未決定
10. 安定性及び反応性	
化学的安定性	通常の条件下では安定しています。
避けるべき条件	該当なし。
危険有害な分解生成物	特定されていません。
11. 有害性情報	
急性毒性（経口）	区分に該当しない:CAS番号:8002-74-2(毒性値=5000mg/kg 含有率=40% 出典:NITE), CAS番号:36653-82-4(毒性値=2500mg/kg 含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:13463-67-7(毒性値=5000mg/kg 含有率=2.5% 出典:NITE) 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:112-92-5(含有率=10% 出典:https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号:なし(含有率=37.5% 出典:) ATEmix=100 / ((40% / 5000mg/kg) + (10% / 2500mg/kg) + (2.5% / 5000mg/kg))計算結果が8000mg/kgのため、区分に該当しないに該当。
急性毒性（経皮）	区分に該当しない:CAS番号:8002-74-2(毒性値=3600mg/kg 含有率=40% 出典:NITE), CAS番号:36653-82-4(毒性値=2600mg/kg 含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:13463-67-7(変換値=2500mg/kg 含有率=2.5% 出典:NITE) 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:112-92-5(含有率=10% 出典:https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号:なし(含有率=37.5% 出典:) ATEmix=100 / ((40% / 3600mg/kg) + (10% / 2600mg/kg) + (2.5% / 2500mg/kg))計算結果が6266.7380825mg/kgのため、区分に該当しないに該当。
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:8002-74-2(含有率=40% 出典:NITE), CAS番号:112-92-5(含有率=10% 出典:https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号:36653-82-4(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:13463-67-7(含有率=2.5% 出典:NITE), CAS番号:なし(含有率=37.5% 出典:) GHS定義による気体ではない。
急性毒性（吸入：蒸気）	※本ツールでは、ppmとmg/lで計算を行いますが、判定結果はppmを採用します。 急性毒性(吸入):蒸気:ppmでの計算 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:112-92-5(含有率=10% 出典:https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号:36653-82-4(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:13463-67-7(含有率=2.5% 出典:NITE), CAS番号:なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:8002-74-2(含有率=40% 出典:NITE) 既知の成分がすべて区分に該当しない（分類対象外）のため、区分に該当しない（分類対象外）に該当。 毒性が未知の成分を40%含有。 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しない（分類対象外）から分類できないに変更。 急性毒性(吸入):蒸気:mg/lでの計算 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:112-92-5(含有率=10% 出典:https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号:36653-82-4(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:13463-67-7(含有率=2.5% 出典:NITE), CAS番号:なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:8002-74-2(含有率=40% 出典:NITE) 既知の成分がすべて区分に該当しない（分類対象外）のため、区分に該当しない（分類対象外）に該当。 毒性が未知の成分を40%含有。 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しない（分類対象外）から分類できないに変更。

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分に該当しない: CAS番号: 13463-67-7(変換値=6.25mg/l 含有率=2.5% 出典: NITE) 区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE), CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE) ATEmix=(100 - 50) / ((2.5% / 6.25mg/l))計算結果が125mg/lのため、区分に該当しないに該当。 毒性が未知の成分を50%含有。 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE), CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE), CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE) 区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) 加成方式が適用できる成分からの判定: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当。 毒性が未知の成分を47.5%含有。 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2B: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE) 区分に該当しない: CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE) 区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない: CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE) 加成方式が適用できる成分からの判定: 区分2Bの成分合計が40%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分2Bに該当。 毒性が未知の成分を50.0%含有。 危険有害性情報: H320 眼刺激
呼吸器感作性	区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE), CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE), CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100.0%含有。
皮膚感作性	区分に該当しない: CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE), CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE) 区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当。 毒性が未知の成分を87.5%含有。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖細胞変異原性	区分に該当しない: CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE) 区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE), CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当。 毒性が未知の成分を90.0%含有。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性	区分2: CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE) 区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE), CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE) CAS番号: 13463-67-7が2.5%≧1%のため、区分2に該当。 毒性が未知の成分を97.5%含有。 危険有害性情報: H351 発がんのおそれの疑い
生殖毒性	区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE), CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE), CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100.0%含有。
生殖毒性・授乳影響	区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) データなし: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE), CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE), CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100.0%含有。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 臓器=気道刺激性 出典: NITE) 区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない: CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE), CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE) 区分3(気道刺激性)の成分合計が40%であり、濃度限界(20%)以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。 毒性が未知の成分を60.0%含有。 危険有害性情報: H335 呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:112-92-5(含有率=10% 出典:https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号:なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:8002-74-2(含有率=40% 出典:NITE), CAS番号:36653-82-4(含有率=10% 出典:NITE) 区分1:CAS番号:13463-67-7(含有率=2.5% 臓器=呼吸器 出典:NITE) CAS番号:13463-67-7が2.5%≧1%のため、区分2(呼吸器)に該当。 毒性が未知の成分を97.5%含有。 危険有害性情報:H373 長年にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
-----------------	--

誤えん有害性	動粘性率:不明 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:112-92-5(含有率=10% 出典:https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号:なし(含有率=37.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:8002-74-2(含有率=40% 出典:NITE), CAS番号:36653-82-4(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:13463-67-7(含有率=2.5% 出典:NITE) 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。 毒性が未知の成分を100.0%含有。
--------	---

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない:CAS番号:13463-67-7(含有率=2.5% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 出典:NITE) 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:112-92-5(含有率=10% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 出典:https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号:なし(含有率=37.5% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 出典:) 分類できない:CAS番号:8002-74-2(含有率=40% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 出典:NITE), CAS番号:36653-82-4(含有率=10% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 出典:NITE) 方式3: 加算法 (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が0%であり、濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当。 方式1=分類できない、方式2=分類できない、方式3=区分に該当しないより区分に該当しないに該当。 毒性が未知の成分を97.5%含有。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
----------------	---

水生環境有害性 長期（慢性）	区分4:CAS番号:13463-67-7(含有率=2.5% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=不明 出典:NITE) 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:112-92-5(含有率=10% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=不明 出典:https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号:なし(含有率=37.5% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=不明 出典:) 分類できない:CAS番号:8002-74-2(含有率=40% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=不明 出典:NITE), CAS番号:36653-82-4(含有率=10% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=有 出典:NITE) 方式3: 加算法 (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が0%であり、濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当。 方式1=分類できない、方式2=分類できない、方式3=区分に該当しないより区分に該当しないに該当。 毒性が未知の成分を97.5%含有。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
----------------	--

オゾン層への有害性		分類できない: CAS番号: 8002-74-2(含有率=40% 出典: NITE), CAS番号: 112-92-5(含有率=10% 出典: https://labchem-wako.fujifilm.com/sds/W01W0119-0406JGHEJP.pdf), CAS番号: 36653-82-4(含有率=10% 出典: NITE), CAS番号: 13463-67-7(含有率=2.5% 出典: NITE), CAS番号: なし(含有率=37.5% 出典:)
		データ不足のため分類できない。
備考		
13. 廃棄上の注意		
環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。	
残余廃棄物（化学品）	廃製品・廃容器は産業廃棄物として処理する	
汚染容器及び包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。	
備考		
14. 輸送上の注意		
国際規制		
国内規制がある場合の規制情報		
	海上規制情報	
	航空規制情報	
	陸上規制情報	
緊急時応急措置指針番号*		
* 北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「Emergency Response Guidebook (ERG)」（一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている（発行元：日本規格協会）に掲載されている。		
備考		
15. 適用法令		
労働安全衛生法	固形パラフィン（40.0000000 %）（CAS RN：8002-74-2）；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（令別表第9の170）【固形パラフィン】；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（規則別表第2の583）【固形パラフィン】 酸化チタン(ナノ粒子以外)（2.5000000 %）（CAS RN：13463-67-7）；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（令別表第9の191）【酸化チタン（I V）】；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（規則別表第2の623）【酸化チタン（I V）】	
その他の国内法令	1-オクタデカノール（10.0000000 %）（CAS RN：112-92-5）；大防法・揮発性有機化合物（VOC）（法第2条第4項）【大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物（浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。）】	
備考		
16. その他の情報		
備考	[免責] このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠して作成しております。改訂日における最新の情報に基づいていますが、すべての情報を網羅しているものではありません。まだ知られていない危険有害性を有する可能性がありますので、取り扱いの際はできるだけ安全確保に努め、ばく露を避けるよう十分ご注意ください。	